

子吉川水系流域治水プロジェクト【位置図】

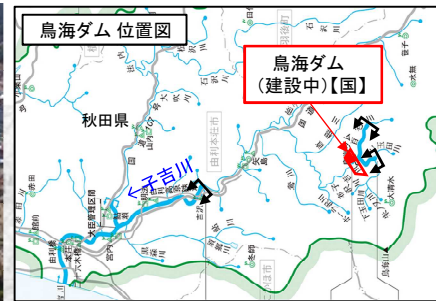
～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

(案)協議会公表用

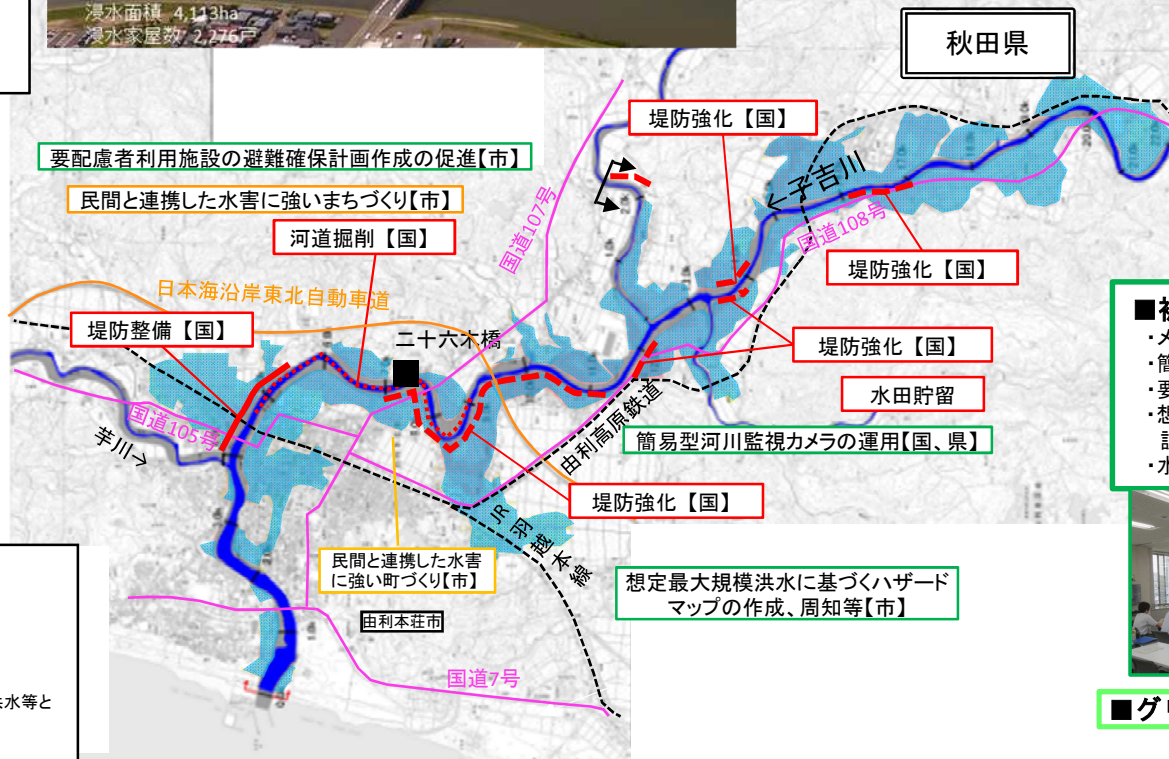
資料1-2

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、子吉川水系においては、上流部が急勾配であり急激な水位上昇が生じる地形特性を考慮し、河川整備に併せて、民間企業と連携した水害に強いまちづくりや迅速な情報提供などの対策を組み合わせた流域治水の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年洪水（前線及び低気圧）と同規模の洪水が発生しても床上浸水等の重大な家屋浸水は防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削、堤防整備、鳥海ダム建設、砂防堰堤
 - ・既存ダム等2ダムにおける事前放流等の実施
 - ・水田貯留
 - ・森林整備・治山対策 等



- 被害対象を減少させるための対策
- ・民間と連携した水害に強いまちづくり 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・メディアと連携による洪水情報の提供
 - ・簡易型河川監視カメラの運用
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・想定最大規模の洪水に基づくハザードマップの作成及び公表、説明会、周知の実施
 - ・水害リスク空白域の解消 等



- 凡例
- 堤防整備
 - - - 堤防強化
 - ⋯ 河道掘削
 - 浸水想定範囲(昭和22年7月洪水等と同規模想定)
 - ↔ 大臣管理区間

■ グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

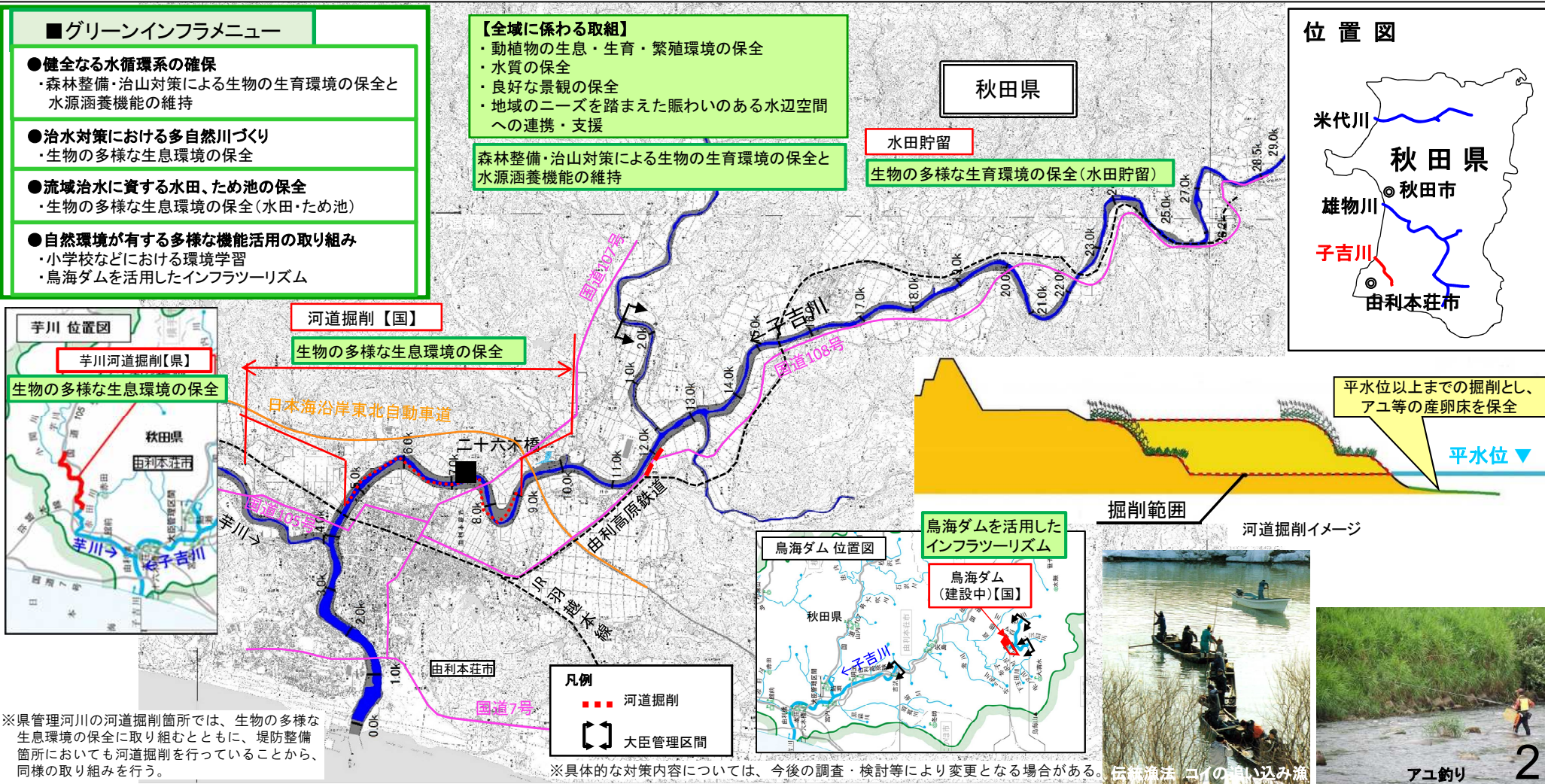
子吉川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

(案)協議会公表用

●グリーンインフラの取り組み 『アユなどが生息する良好な生息環境を目指して』

- マスやアユ等の清澄な水を好む回遊魚が豊富に生息している他、コイやウグイ、マハゼ、カワヤツメ、シロウオ、モズクガニなど多様な魚種が確認されている。また、風物詩であるコイの追込み漁やゴリ漁などの伝統的な漁法が残っているだけでなく、ヤマメ釣りやアユの友釣りなど釣りも盛んに行われている。
- 魚類の生息環境となる瀬や淵、アユの産卵床などの良好な河川環境を目指し、多様な河川環境を保全するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



※県管理河川の河道掘削箇所では、生物の多様な生息環境の保全に取り組むとともに、堤防整備箇所においても河道掘削を行っていることから、同様の取り組みを行う。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

子吉川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

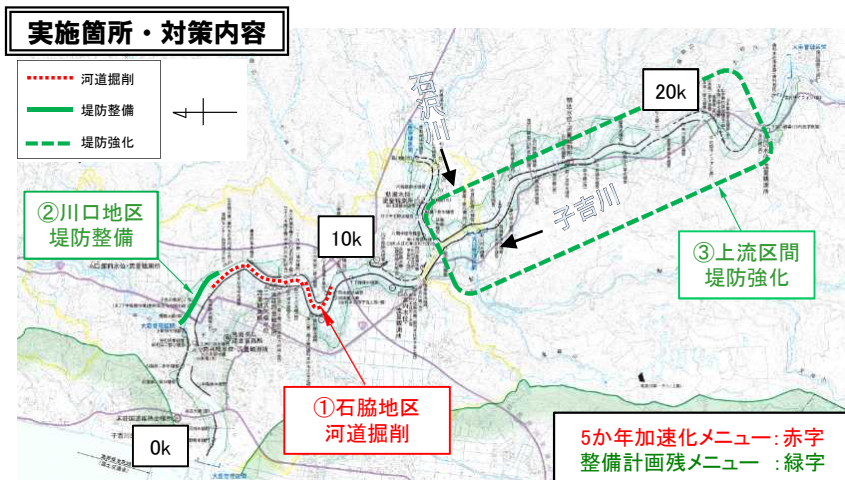
(案)協議会公表用

～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

進捗と効果 (R4.3版)

○石脇地区の河道掘削の進捗により、背後の由利本荘市街地の浸水リスクが軽減する。

短期整備(5か年加速化対策)効果:河川整備率 約72%→約77%



区分	対策内容	区分	【5か年加速化対策】 短期(R3~R7年) 1/15→1/20	中期(R8~R12年) 1/20→1/40	中長期(R13~24年) 1/40→1/40
関連事業			R3	●鳥海ダム完成	
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策 (国)	河道掘削 88%→100%	①石脇地区	100%	短期で河道掘削が完了	
	堤防整備 0%→100%	②川口地区	100%		
	堤防強化 質的整備 60%→100%	③上流区間	70%	100%	

注:スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

リスクマップ検討中

子吉川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

(案)協議会公表用

～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

戦後最大洪水等に対応した 河川の整備率  集計中	農地・農業用施設の活用  集計中	流出抑制対策の実施  集計中	山地の保水機能向上・ 土砂・流木対策  集計中	立地適正化計画における 防災指針の作成  集計中	水害リスク情報の提供  集計中	高齢者等避難の 実効性の確保  集計中
---	--	--	--	---	---	--

凡例
 集計中
 過去調査
 最新調査の速報値
 最新調査の確定値


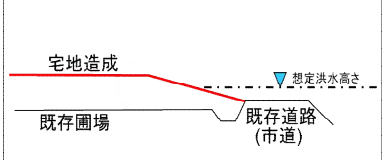
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

●河道掘削
 令和3年度：二十六木地区河道掘削




被害対象を減少させるための対策

●民間と連携した水害に強いまちづくり
 ・土地嵩上げにより浸水被害の減少を合わせた官民連携による宅地造成を行う。
 令和3年度：(官)都市計画決定(都市下水路、地区計画)
 (民)用地買収、造成着手(先行エリア)
 令和4年度：(官)都市下水路整備着手、道路整備着手

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

●想定最大規模の洪水に基づくハザードマップの周知
 ・令和3年3月に由利本荘市全戸に配布し、市公式ホームページに掲載。
 ・由利本荘市ケーブルテレビで周知
 ・令和3年度 説明会実施。(19地区)



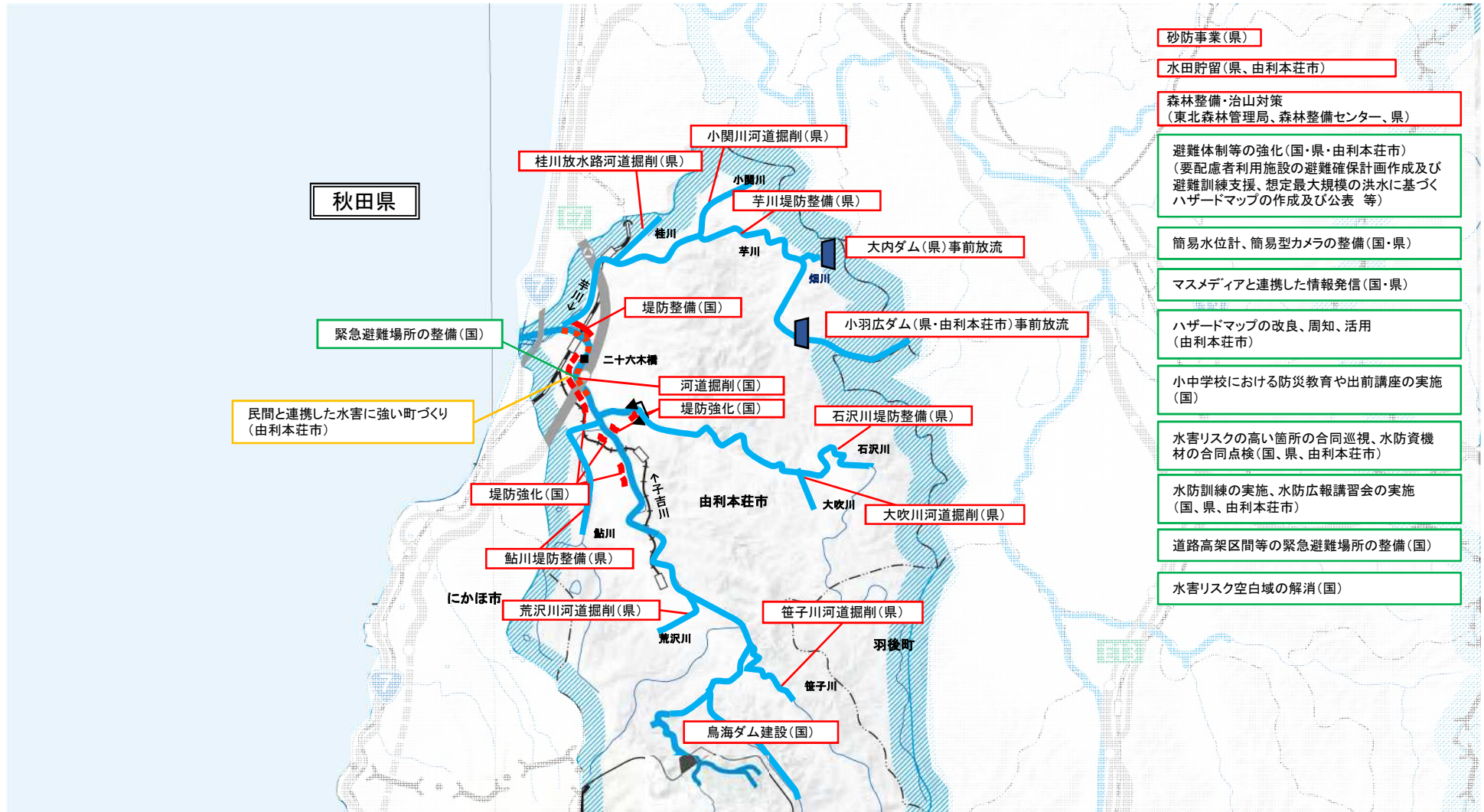
◎洪水の雨量基準を変更

これまでは50年または100年に1度の大雨を想定していたものが、千年に1度の雨量基準に変更になり、洪水・土砂災害マップの浸水地域が前回よりも広がりました。



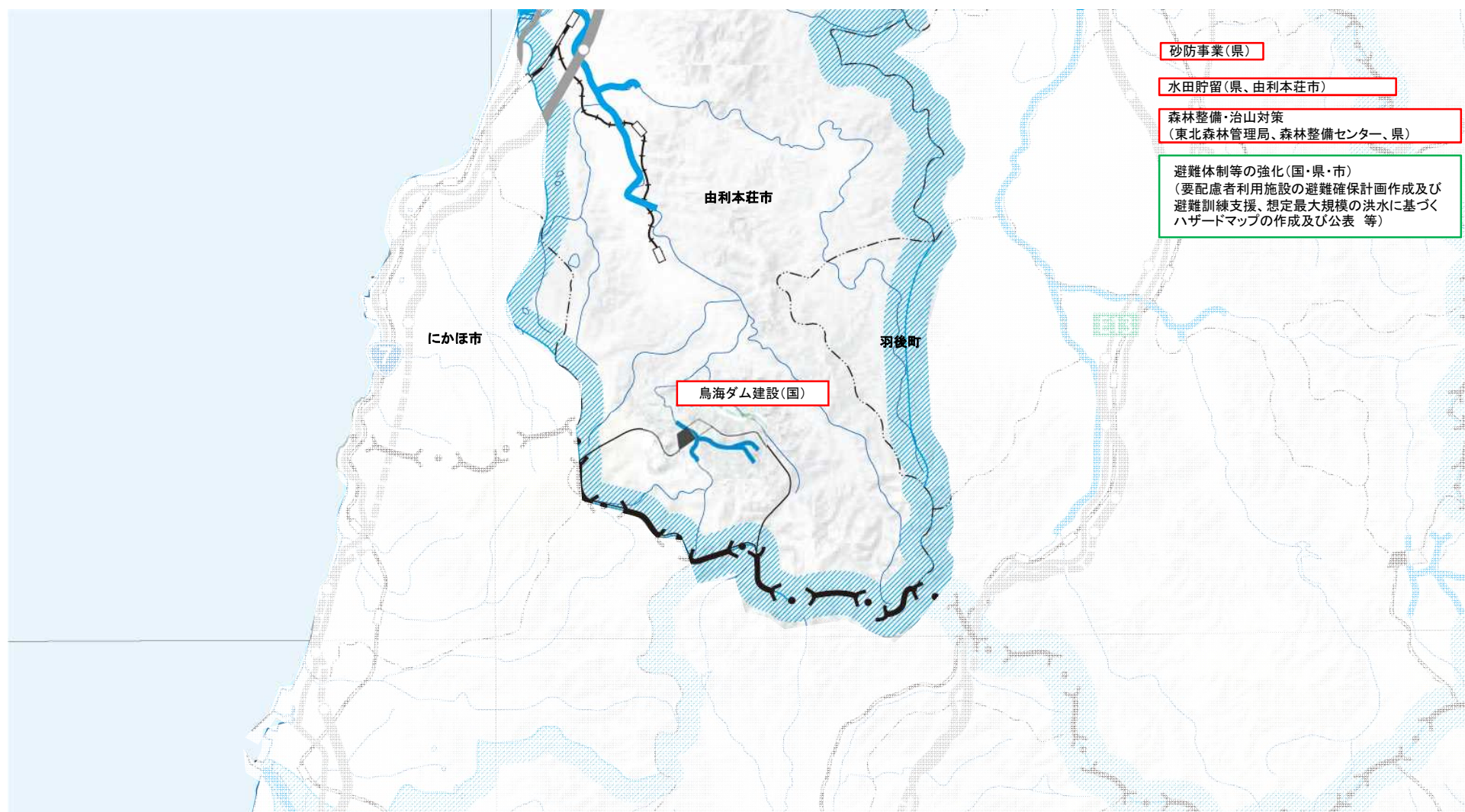
子吉川水系流域治水プロジェクト【位置図（詳細版1／2）】

(案)協議会公表用



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

子吉川水系流域治水プロジェクト【位置図（詳細版2／2）】 (案)協議会公表用



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。